

市場経済の仕組み学ぶ

公取委 徳島文理中
四国支所 出前授業



ゲームを通じて市場経済を学ぶ生徒
＝徳島文理中学校

市場経済の仕組みや独占禁止法の役割について知ってもらおうと、公正取引委員会事務局四国支所は7日、徳島市の徳島文理中学校で出前授業を開いた。

3年生124人が参加し、スマートフォン(多機能携帯電話)を販売する電器店役と消費者役に分かれて市場競争の必要性を学ぶゲームに挑戦。電器店役の生徒が値下げしたり、サービスを追加

したりすると、消費者役の生徒は値段やサービスを吟味してどの店で買うかを判断。正しい競争が消費者の恩恵につながることを学んだ。

公取委の職員は価格カルテルや不当販売など独占禁止法の違反行為も説明した。武田三青さん(15)は「値段の安い商品に目が向きがちだけど、正しい買い物かどうか、きちんと判断したい」と話していた。(廣井和也)